

一般社団法人 日本小児血液・がん学会
(旧 特定非営利活動法人 日本小児血液・がん学会)
第 31 回 (平成 28 年度第 4 回) 理事会議事録

日 時：平成 28 年 8 月 12 日 (金) 10:30~14:30

場 所：AP 品川 N+O ルーム
東京都港区高輪 3-25-23 京急第 2 ビル 9 階

出席者：檜山英三 (理事長)
堀部敬三 (副理事長)
足立壯一、天野功二、井上雅美、今泉益栄、大植孝治、大賀正一、小野 滋、上條岳彦、
上別府圭子、菊田 敦、木下義晶、副島俊典、田尻達郎、田中祐吉、西川 亮、
堀 浩樹 (以上理事)
仁尾正記 (監事)
黒田達夫 (第 58 回学術集会会長)
石井榮一 (第 59 回学術集会会長)
細井 創 (第 60 回学術集会会長)

欠席者：真部 淳 (理事)
小林正夫 (監事)

議長：檜山理事長

冒頭に、本日の理事出席者数は 19 名中 18 名であり、定款施行細則第 8 条第 3 項に定める成立定足数を満たしているため、本理事会は成立することを確認し、以下の議案について逐次審議に入った。

I. 前回・前々回理事会議事録 (案) 及び社員総会議事録 (案) の確認

議長より、前回・前々回議事録 (案) 及び社員総会議事録 (案) が示され、議場にその承認が求められたところ、理事長互選に関する前回議事録 (案) へ理事会通し番号第 30 回を記載し、その後の理事会は番号を 1 つずつずらすこととして、承認された。

II. 審議事項

1. 学会支援機構契約書更新 (一般社団法人手続き費用追記等) の件

議長より、学会支援機構契約書更新 (案) が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

2. 緩和ケア研修等事業関連業務に関する申し合わせの件

議長より、学会支援機構との緩和ケア研修等事業関連業務に関する申し合わせ (案) が示され、議場にその承認が求められたところ、学会法人格を特定非営利活動法人として記載し、申し合わせの期間を記載することとして、再審議することとなった。

3. 小児血液・がんみなし指導医認定の件

井上専門医制度委員長より、小児血液・がんみなし指導医への新規認定申請者 2 名に関して、提

出書類をもとに厳正に審査した結果、全員認定要件を満たしているものと判定したため、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

4. 研修施設資格更新認定の件

井上専門医制度委員長より、本年度小児血液・がん専門医研修施設の資格更新対象施設 1 施設に関して、委員会において、提出書類をもとに厳正に審査した結果、認定要件を満たしているものと判定したため、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

5. 小児がん認定外科医新規認定の件

井上専門医制度委員長より、小児がん認定外科医への新規認定申請者 15 名に関して、提出書類をもとに厳正に審査した結果、14 名は認定要件を満たしているものと判定したため、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

なお、所属施設が申請時点から変更となっている申請者がいたため、確認し修正することとなった。

6. 研修施設新規認定の件

井上専門医制度委員長より、小児血液・がん専門医研修施設への新規認定施設 6 施設に関して、委員会において、提出書類をもとに厳正に審査した結果、全員認定要件を満たしているものと判定したため、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

7. 入会申請者承認の件

議長より、正会員 51 名の入会申請者が示され、議場にその承認が求められたところ、1 名は専門領域について、1 名は所属施設について申請者に確認することとして承認された。

8. 「公益信託 日本白血病研究基金」助成金に関する学会推薦者の件

西川学会賞等選考委員長より、「公益信託 日本白血病研究基金」の助成金に関する学会推薦者について、学会員に公募したが応募者がいなかったため、議場に推薦者が求められたところ、討議がなされ、小児科領域理事より推薦者を選出し、メール審議にて検討することとなった。

また、議場より、学会推薦枠が会員に周知されていないように考えられるとの意見があり、次回から、公募時に学会推薦枠を強調することで、会員への周知を徹底することとなった。

9. 長期フォローアップ・移行期医療検討委員会に関する件

議長より、資料をもとに、長期フォローアップ・移行期医療検討委員会について、厚生労働省でのヒアリングの結果、事業を開始する方向で合意を得られたことが報告された。

また、委員会委員（案）が示され、議場にその承認が求められたところ、教育・研修委員長の大植孝治先生を副委員長とし、理事長の檜山英三先生を委員長として追加することで、承認された。

また、議場より、委員会名について再検討すべきとの意見がなされ、討議の結果、長期フォローアップ・移行期医療委員会とすることとなった。

なお、委員会にて、以下の事項を検討することとなった。

- ・受講対象者の職種・要件について
- ・受講要件に本会会員資格を要するか

- ・小児がん看護学会会員資格でも受講可能とするか
- ・ファシリテーターの育成について

10. 学会誌原稿の適正な authorship に関する件

田中学会誌編集委員長より、学会誌投稿規定に、適正な authorship に関して追記することを検討している旨が報告され、議場にその活動について承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

11. 学会誌のメディカルオンライン掲載の件

田中学会誌編集委員長より、本会学会雑誌を株式会社メテオの運営するメディカルオンラインへ掲載することに関して、その概要について説明がなされ、来年を目途に始める方向で進めることについて、議場に承認が求められたところ、非会員への閲覧制限について検討することとし、方向性は承認された。

12. 「小児・AYA 世代のがんに対する陽子線治療ガイドライン」作成 WG メンバー推薦の件

議長より、日本放射線腫瘍学会の「小児・AYA 世代のがんに対する陽子線治療ガイドライン」作成におけるワーキンググループメンバー推薦依頼について説明がなされ、議場に意見が求められたところ、副島俊典先生にて推薦者を検討することとなった。

13. 日本口腔看護研究会第 5 回東京地区セミナー後援名義使用申請の件

議長より、日本口腔看護研究会第 5 回東京地区セミナー後援名義使用申請の資料が示され、議場にて確認がなされ、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

14. 2017 年理事会及び選挙予定の件

議長より、2017 年 1 月から 2018 年 6 月までの理事会及び選挙予定（案）が示され、議場に意見が求められたところ、以下の意見開陳及び決定がなされた。

- ・2017 年 6 月開催の定時社員総会は、6 月 17 日（土）、東京、聖路加国際病院での開催を検討することとなった。
- ・理事長の選任方法について、選挙から理事による互選に変更してはどうかとの意見があり、学会あり方委員会での検討事項となった。

15. 各委員会規程と定款施行細則との整合性の件

副島規約委員長より、各委員会規程と定款施行細則との整合性を規約委員会で検討すべきかについて、議場に意見が求められたところ、規約委員会にて検討することとなった。

16. 血小板委員及び止血・血栓委員募集の件

足立疾患委員長より、血小板委員及び止血・血栓委員が不足しているため、委員を再公募することについて、議場に承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

17. KSPHO 合同シンポジウムにおける講演者推薦依頼の件

議長より、KSPHO 合同シンポジウムにおける、座長を 1 名、講演者 2 名の推薦依頼について説明

がなされ、議場に意見が求められたところ、以下の意見開陳がなされた。

- ・開催時期が小児外科学会秋季シンポジウムと重なるため、小児外科医師は参加困難である。
- ・学会交流の一環として、できれば理事が参加する方向で検討する。

18. 日本小児科学会より小児慢性疾患関連委員推薦依頼の件

議長より、資料をもとに、委員推薦依頼について説明がなされ、小児慢性疾患患者の移行支援ワーキンググループへの推薦委員（案）、および、小児慢性疾患委員会への推薦委員（案）が示され、議場に承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

19. 看護委員会規程の件

上別府看護委員長より、看護委員会規程（案）が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

なお、委員会活動については、専門医制度に関わる活動も含めて、今後検討することとなった。

20. 次期疾患登録事業に関する件

堀部学術・調査委員長より、次期疾患登録事業について以下の説明がなされた。

- ・JCCG 固形腫瘍疾患登録、日本小児血液・がん学会疾患登録、日本小児外科学会疾患登録、3 団体疾患登録事業における一次登録を一元化できるよう検討している。データの流れは、JCCG、日本小児血液・がん学会、日本小児外科学会の順を検討している。
- ・本データベースの構築費用については、臨床効果データベース整備事業の一環としての費用拠出を検討している。

III. 報告事項

1. 庶務報告

堀部庶務・財務副委員長より、資料をもとに、会員状況について報告がなされた。

資料について、病理領域項目の記載位置を上記以外の臨床系領域より前段階に記載することとなった。

名誉会員の退会者について、状況を確認することとなった。

2. 利益相反委員会報告

天野利益相反委員長より、9月に委員会を開催予定であることが報告された。

3. 学会誌編集委員会報告

田中学会誌編集委員長より、資料をもとに、学会誌発行状況及び投稿論文審査状況について報告がなされた。

4. 診療ガイドライン委員会報告

小野診療ガイドライン委員長より、資料をもとに、ガイドラインの発刊状況・広報予定・改訂予定について報告がなされた。

また、議場より、次回ガイドライン発刊予定について、役員任期内で発刊できるように4年計画と

してはどうか、との意見があり、委員会での検討事項となった。

5. 学会賞等選考委員会報告

西川学会賞等選考委員長より、学術賞応募締切が8月31日であるため、応募を呼び掛けて欲しいとの周知がなされた。

6. 研究審査委員会報告

上條研究審査委員長より、資料をもとに、研究審査状況が報告された。

7. 学術・調査委員会報告

堀部学術・調査委員長より、資料をもとに、日本小児科学会がとりまとめている、各学会の疾患登録事業を国が支援する臨床効果データベース整備事業に本会も参画しており、このたび、厚生労働省より事業の認可が下りたことの報告がなされた。本年度は本会のデータベース事業についても国からの支援が得られる予定である。

8. 疾患委員会報告

足立疾患委員長より、資料をもとに以下の報告がなされた。

- ・小児科学会小児慢性疾患委員会について

本会で小児慢性疾患意見書作成WGの組織およびそのメンバーについて報告がなされた。さらに、メンバー追加（案）が示され、議場に承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

- ・再生不良性貧血・MDS委員会について

中央診断については、本年12月で終了することとなった。

9. 看護委員会報告

上別府看護委員長より、教育セッションなどの開催も含めて、今後の活動計画を立てることが報告された。

10. 教育・研修委員会報告

大植教育・研修委員長より、資料をもとに、6月25日の社員総会時に開催された教育セミナーについて、参加者254名であったことが報告された。

次年度からは、厚生労働省委託事業ではなくなるため、予算の問題も含めて、開催計画を検討中であることが報告された。

11. 専門医制度委員会報告

井上専門医制度委員長より、第3回小児血液・がん専門医試験の実施予定について報告がなされた。

12. 社会・広報委員会報告

大賀社会・広報委員長より、学会ホームページのリニューアル進捗状況について、改定作業が完了次第、リニューアルされることが報告された。

また、議場より、各委員会の活動報告・活動計画をホームページに掲載してはどうか、との意見があり、各委員会議事録をホームページに掲載することとなった。

13. 保険診療委員会報告

今泉保険診療委員長より、診療報酬改定について、第一次提案書を11月に提出予定であることが報告された。

14. 国際委員会報告

堀国際委員長より、資料をもとに、以下の報告がなされた。

- ・第58回学術集会アジア交流セッション申請一覧が示され、国際委員会での審議による採択結果が報告された。
- ・上記の採択審議後に、学術集件事務局へ送付されていた申請者1名が、採択審議に漏れてしまっていたことが判明し、国際委員会と学術集会長にて協議されたところ、その1名については、招聘費用を学術集件事務局にて負担することとして、採択されることとなった。
- ・PBCのEditorial Board Meeting 議事録が報告された。
- ・SIOP 2018に関して、費用拠出について日本学術会議と交渉中であることが報告された。
- ・KENESのサイトビジット受け入れについて、7月29日に意見交換がなされた。
- ・国内組織委員会にて、広報・資金確保活動をしている。
- ・SIOP国内組織委員会について、本会の「学会関連団体」とする名称使用許可の承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

15. 第58回日本小児血液・がん学会学術集会準備報告

黒田会長より、資料をもとに、準備状況について以下の報告がなされた。

- ・演題査読の集計が完了し、プログラムの叩き台まで作成がなされた。
- ・演題540題程度集まっている。
- ・講演時間は基本的には発表6分、質疑応答3分とし、発表4分、質疑応答2分とする短い演題も作成した。
- ・社員総会の開催時間を1時間30分とすることについて、議場に承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

16. 第59回日本小児血液・がん学会学術集会準備報告

石井次期会長より、資料をもとに、準備状況について以下の報告がなされた。

- ・会期：2017年11月9日（木）～11日（土）
- ・会場：ひめぎんホール（愛媛県県民文化会館）
- ・参加費：医師15,000円、看護師10,000円
- ・演題登録期間：2017年5月10日（水）～6月15日（木）
- ・懇親会：2017年11月10日（金）、全日空ホテル
- ・国際交流委員会：2017年11月9日（木）、大和屋
- ・Meet The Expertは海外招待者に依頼する予定
- ・チャリティサイクリングを計画している

17. 第 60 回日本小児血液・がん学会学術集会準備報告

細井次々期会長より、資料をもとに、準備状況について以下の報告がなされた。

- ・学術集会運営を株式会社コンベンションリンクージに依頼することについて、議場に承認が求められたところ、全員異議なく承認された。
- ・2018年11月14日(水)～16日(金)開催とする。SIOPは11月17日(土)～19日(月)開催予定である。
- ・国際交流委員会は日程を現在検討中である。
- ・議場より、国際組織球症学会が、11月12日(月)～14日(水)開催を検討していることが報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。